



2-1 施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

施策の目的、方向に対する考察（PDCAサイクルにおけるCheck・Action）

・令和7年度は、地域公共交通計画を策定し、あわせて北部地域デマンド型交通実証実験後の巡回ワゴンバス運行に向けた検討を進めた。その検討にあたっては、公共交通活性化協議会の専門部会として地域部会と交通計画部会を設置し、各部会において協議を重ねながら進めたことで、計画策定や施策の取組に地域の声や交通事業者の意向を効果的に反映することができた。引き続き、このスキームを活用し、計画に定めた施策の実施に取り組む。

・また、交通安全対策については、調布警察署と連携し、例年以上に交通ルールの周知・啓発に努めたが、自転車に関わる事故の発生件数が高いことが課題になっている。今後は、昨年度末に策定した自転車活用推進計画に基づき、施策の実施や自転車安全利用の更なる啓発に努める。

2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値 (目標年度)			目標値	指標の推移	考察 (目標達成の要因、課題、目標達成に向けた今後の取組の方向等)
			(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)			
市内の公共交通機関（電車・バス）を利用しやすいと感じている市民の割合	%	78.5 令和4年度	78.5	79	78.2	80.0 令和8年度	▼	・市内路線バスの路線再編及びダイヤ改正が実施されたことから、市民生活への影響緩和のため、交通事業者と協力し、丁寧な市民周知を行った。 ・調布市公共交通活性化協議会等での議論を行いつつ、調布市地域公共交通計画を策定した。また北部地域での巡回交通の導入に向けた準備を行った。 ・今後は同計画に示す事業を推進するとともに、巡回交通を運行し、目標値の達成を目指す。
市内における交通人身事故件数（暦年）	件	479 令和4年	514	445	492	370 令和8年	▼	・全国交通安全運動をはじめ、交通安全教育等の普及啓発事業を実施した。 ・改正道路交通法施行に備え、警察署と協力し市民向け講習会等を行った。 ・新法対応を含め、通行ルールやマナーの啓発事業を継続する。
自転車乗入台数	台	1万657 令和3年度	1万1459	9454	1万1568	1万2000 令和8年度	○	・駅周辺への自転車通行空間整備を進め、安全な走行空間を確保した。 ・駅周辺自転車等駐車場の満空情報をホームページ上で発信した。

※ ○：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） -：数値未把握（調査未実施など）

施策・事務事業マネジメントシート【令和8年度】

1 施策の基本情報(Plan)

施策名		26 快適な公共交通環境の整備
目的	対象	市民、市内公共交通機関の利用者
	意図	安全、快適、円滑に目的地まで移動できる
施策の方向		将来の交通需要や都市基盤の整備と合わせた効率的な公共交通ネットワークを形成するとともに、交通安全対策の推進、環境への負荷の少ない自転車利用の促進などを通じて、誰もが安心して移動できる快適な交通環境が整備されたまちづくりを進めます。

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

■26-1 公共交通ネットワークの形成

No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
87	交通計画等の検討	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・総合交通計画の進行管理 ・地域公共交通計画の策定 ・ミニバス運行維持のための事業者協議、調整 ・公共交通活性化協議会の開催（本会議2回、作業部会6回） ・バリアフリー推進協議会の開催（本会議1回、市民部会1回）及び特定事業計画の進行管理	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・総合交通計画の進行管理 ・地域公共交通計画に示す事業の推進 ・ミニバス運行維持のための事業者協議、調整 ・公共交通活性化協議会の開催（本会議2回、作業部会8回を予定） ・バリアフリー推進協議会の開催（本会議1回、市民部会1回を予定） ・バリアフリー基本構想に基づく特定事業計画の状況調査及び評価（短期事業）

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①北部地域デマンド型公共交通実証実験の実施及び実験終了後の地域モビリティ導入準備 ②交通情報の発信に向けたデジタルサイネージ等の設置（調布駅前広場への設置完了） ③バリアフリー基本構想に基づく鉄道駅ホームドア等の設置促進（京王多摩川駅への設置完了） ④自動運転技術の公共交通への導入可能性の調査	①北部地域デマンド型公共交通実証実験の終了及び次期地域内交通（巡回ワゴン）の運行開始 ②交通情報の発信に向けたデジタルサイネージ等の運用（交通情報、広告、公共情報発信） ③バリアフリー基本構想に基づく鉄道駅ホームドア等の設置促進（仙川駅・つつじヶ丘駅） ④自動運転技術の公共交通への導入可能性の調査

■26-2 交通安全対策の推進

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①全国交通安全運動・交通安全市民のつどい、都民のつどい、自転車安全利用キャンペーン等の啓発活動の実施・活動支援 ②自転車安全教室、高齢者交通安全指導員講習会、自転車安全利用講習会等の実施 ③高齢者等運転免許自主返納サポート事業、TSマーク補助事業、自転車用ヘルメット購入補助事業の実施 ④子ども交通安全教室の運営、新一年生への交通安全啓発用品の支給 ⑤調布駅前広場における通行ルール（自転車押し歩き）の周知、改正道交法に関する周知・啓発 ⑥道路照明、カーブミラーの設置や維持管理など、交通安全施設を整備した。	①全国交通安全運動・交通安全市民のつどい、自転車安全利用キャンペーン等の啓発活動の実施・活動支援 ②自転車安全教室、高齢者交通安全指導員講習会、自転車安全利用講習会等の実施 ③高齢者等運転免許自主返納サポート事業、TSマーク補助事業、自転車用ヘルメット購入補助事業の実施 ④子ども交通安全教室の運営、新一年生への交通安全啓発用品の支給 ⑤調布駅前広場における通行ルール（自転車押し歩き）の周知、改正道交法に関する周知・啓発 ⑥「調布市道路付属物維持管理方針（令和6年3月策定）」に沿った交通安全施設の維持・管理・更新を行う。

■26-3 自転車利用の促進

No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
88	自転車等利用環境の整備	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・自転車利用の促進のため、自転車活用推進計画策定検討会を開催し、計画を策定した。 ・自転車の安全な通行のため、自転車通行空間整備工事(1路線)を実施した。 ・利用者の利便性向上のため、京王多摩川自転車等駐車場の2階部分に一時利用専用個別ラックと精算機を整備した。 ・施設の適正管理のため、つつじヶ丘西第2自転車駐車場の擁壁補修工事を実施した。	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・自転車活用推進計画に基づいた取組を進める。 ・自転車の安全な通行のため、自転車通行空間整備工事(1路線)を実施する。 ・施設の適正管理のため、飛田給北自転車駐車場の高圧受変電設備の更新工事を実施する。 ・施設の利便性向上のため、耐用年数の経過した駐輪場機械設備を更新する。

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)

4 施策の推進、成果向上の視点（4つの視点）を踏まえた令和7年度の実績及び令和8年度の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
・調布市内各駅周辺の駐車状況がインターネット上で表示されるようにシステムの更新を検討する。【令和7年度】 ・自動運転技術の公共交通への導入可能性の調査【令和8年度】	・電気通信大学との連携【令和8年度】 先端工学基礎課程（社会人コース）にて開講される「技術過程演習第二」において、市のまちづくりをテーマとして、課題解決力や実践力を身に着けるため学習や研究を行っていただくに当たり、同プログラムへ職員を講師として派遣する。
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
・シェアサイクルステーションを路線バス停付近へ設置し、公共交通環境の改善に努める。【令和8年度】 ・公共交通の利用促進（計画事業の推進）【令和8年度】	・シェアサイクル事業者と防災協定を締結したので、大規模災害時へ備える。【令和7年度】